

研究実施のお知らせ

2021年6月16日 ver.1.0

研究課題名

高齢者下眼瞼皮膚悪性腫瘍に対する顔面横動脈穿通枝皮弁を用いた再建の検討

研究の対象となる方

2019年7月から2021年1月の間に島根大学医学部附属病院で下まぶたの皮膚癌と診断され、下まぶたの皮膚癌の治療ならびに皮弁による再建を受けられた方

研究の目的・意義

癌を取った後の下まぶたの再建には、広い範囲を切開して皮膚をずらして欠損部分を覆う方法と、狭い範囲を切開して皮膚をずらして欠損部分を覆う方法の2通りが大きく分けるとあります。見た目ならびに機能の仕上がりの良さ、という点で主に前者が古くから用いられてきました。後者の欠点とされた、皮膚の移動距離が少ないという問題を解決する方法として我々が考案した術式で下まぶたを再建された患者さんは、手術中、手術後の身体的負担が少ないという印象を持ちました。そこで、この方法で下まぶたの再建を受けられた患者さん方の手術中、手術後のこれまでの経過の記録を検証することで今回の術式の利点、欠点を検討したいと考えます。

研究の方法

電子カルテ上の診療記録から以下の項目を調査して検討します。

- 1) 年齢
- 2) 性別
- 3) 診断名
- 4) 診断名のほかの主な病気の有無とその種類
- 5) 日常生活の活動性の程度
- 6) 血液さらさら効果のある薬の内服の有無および種類
- 7) 手術時に受けられた麻酔の種類
- 8) 腫瘍のサイズ
- 9) 欠損のサイズ
- 10) 皮弁の寸法
- 11) 再建術式
- 12) 術後合併症

- 13) 術後追跡期間
- 14) 腫瘍再発の有無
- 15) 機能、整容面での結果

研究の期間

2021年7月27日～2023年3月

研究組織

この研究は島根大学医学部附属病院形成外科が行います。

研究責任者（研究で利用する情報の管理責任者）：

島根大学医学部附属病院形成外科 山川 翔

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2022年1月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院形成外科 山川 翔

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2210 FAX 0853-21-8317